

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		平成5年	
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	12 公共交通
事務事業名		04	路線バス維持事業
根拠法令・例規等		備前市路線バス補助金交付要綱	
担当課(室)		企画課	
職・氏名		企画政策係長・田原義大	
電話		0869-64-1871	
このシート作成に要した時間		2.0 時間	

事業の目的	
対象(誰・何に対して)	交通弱者(児童・生徒、高齢者、マイカーを持たない人)、沿線地域住民
目的(何のために)	児童、生徒、高齢者等の交通手段を持たない人が、通勤・通学・通院・買物等のために移動する手段を確保するため。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	市民生活の手段として必要なバス路線の運行を維持し、多くの市民に利用してもらう。

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	路線バス運行補助金	市内路線バスの運行を行う日生運輸㈱に対し、事業経費の赤字補助を実施する	
	バス運行形態調査検討事務	利用実態の調査、効率的運行形態の検討	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費	千円	70,029	70,032	70,030
	必要人員(人件費)	人	0.81人	0.09人	0.13人
	事業費	千円	78,031	70,867	71,257
	国県支出金	千円			
	受益者負担	千円			
財源	千円				
繰入金	千円				
その他( )	千円				
一般財源	千円	78,031	70,867	71,257	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	利用者数	人	286,346	284,404	256,964
	結果指標量	事業	286,346	284,404	256,964
	対前年比	%	99.3%	90.4%	90.4%
	活動コスト	円	78,002,000	70,835,000	71,257,000
単位当たりコスト	円	272	249	277	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
週1回以上利用した市民の割合	目標値(A)	6.70%	6.70%	6.70%	6.70%
	実績値(B)	4.60%	4.10%	3.80%	到達目標値
	達成率(B/A)	68.66%	61.19%	56.72%	6.70%
成果指標設定の考え方・式や説明					
週1回以上利用した市民・調査回答市民 市民アンケート結果による					

事務事業の評価		妥当性評価 <A-E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	C
	市民ニーズ	
効率性の評価	コスト	D
	手段	
有効性の評価	目的達成度	C
	市民参画度	

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	引き続き、現路線の運行維持を維持しながら、利用者等の意見を取り入れ、可能な改善を実施していく。専門家の意見等も参考にしながら、備前市内の公共交通のありかたについて検討を行う。					

総合評価		評価区分 <A-E>
一定の利用はあるものの全体的に利用者は減少傾向にある。運行経費削減により、赤字額は昨年と比較して減少したものの補助金額の削減までには至っていない。市民からは増便や路線延長等の要望もあるものの経費面を考えると難しい状況である。今後はできる範囲で市民の声に沿った路線やダイヤ等の見直しを図っていくとともに、バス以外の移動手段の検討やスクール運行との調整を視野に入れ交通体系全体を見直ししていく必要がある。 なお、定住自立圏構想を推進する中で、圏域間を結ぶ公共交通システムの構築に向け、関係市町及び事業者と連携調整していく。		C

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	効率性と利便性の高い公共交通システム構築に向け、市内交通体系の見直しを検討する。					

事業の目的、対象、内容を考えてから妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストは留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項  
事業の目的やその数値目標を達成するための成果指標

